

中村高等技術学校に求められる役割

- 施設内訓練では産業界のニーズに沿った基礎的な技能・知識の習得等の訓練を実施し、地域産業を担う人材を育成・輩出する。
- 在職者に対しては産業界や企業のニーズにあった在職者訓練を実施し、企業在職者にとって必要な資格取得やスキルアップを図る。

5年後（令和7年度まで）の目指す姿

【施設内訓練（普通課程）】

- 入校選考応募率 100.0%
- 自己都合による中途退校率 5.7%
- 就職率（うち関連就職率） 98.1%（92.2%）

【施設内訓練（短期課程）】

- 入校選考応募率 116.0%
- 自己都合による中途退校率 0.0%
- 就職率（うち関連就職率） 85.7%（72.7%）

【在職者訓練】

- 受講者数（累計） 1,140人（R3～R7累計）※両校の合計

目指す姿を達成するために

【施設内訓練（普通課程・短期課程）】

- 入校選考応募率
  - ・デジタル技術も活用した情報発信の強化
- 自己都合による中途退校率
  - ・生活相談員の配置
- 就職率（うち関連就職率）
  - ・ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングの実施
  - ・インターンシップの実施
- その他全般に関する取組
  - ・オンライン訓練、ICTを取り入れた訓練の実施
  - ・技能五輪全国大会や各種技能競技大会への選手派遣
  - ・職業訓練指導員の資質・指導力向上

【在職者訓練】

- 受講者数
  - ・レディメイド、オーダーメイドによる在職者訓練の実施
  - ・外国人労働者に対する在職者訓練の実施

R3年度の主な取組と実績

【施設内訓練（普通課程・短期課程）】

■入校選考応募率

普通課程：66.7%（目標値100.0% 達成度D）  
 短期課程：68.0%（目標値108.0% 達成度D）

- ・民間のノウハウを活用した広報活動の充実  
 パンフレット及びリーフレットの刷新、PV作成（各校、各訓練科）  
 テレビCM放送（計28本）、YouTube広告（計300,316回）  
 LINE広告（計505,713回）  
 ジオターゲット広告（対応アプリへの広告表示）（計712,328回）
- ・Twitterによる「日々の訓練の様子」や「学校行事の紹介」（277回/年）
- ・指導員や職員（校長、副校長）による学校および関係機関への訪問（中学校53校、高等学校5校、建築・建設会社10社）
- ・ハローワークとの連携による広報（パンフレット及びリーフレットを相談窓口配置、当校職員による直接配布、入校希望者に対する個別相談）
- ・オープンキャンパスによる学校紹介、入校案内（2回）
- ・小学校への出前授業（1校）

■自己都合による中途退校率

普通課程：0.0%（目標値5.7% 達成度 S）  
 短期課程：0.0%（目標値0.0% 達成度 A）

- ・生活相談員を継続して配置（週2日）し、訓練生の相談に対応（延べ相談人数 91人、延べ相談件数 292件）
- ・学校職員や舎監による訓練生の生活支援  
 若鮎寮生活での食事、舎監による見守りと規律維持

■就職率（うち関連就職率）

普通課程：100.0%（100.0%）（目標値98.1%（92.2%）達成度A（A））  
 短期課程：52.9%（66.7%）（目標値65.0%（72.7%）達成度C（B））

- ・企業見学の実施（5社（普通課程2社 短期課程2社 両過程1社））
- ・ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングの実施（3回/1人）
- ・インターンシップの実施（3科 7社）

■その他全般に関する取組

- ・オンライン訓練、ICT訓練の実施に必要な通信回線開通工事（11月完了）
- ・技能五輪全国大会や各種技能競技大会出場に向けた指導（⇒出場には至らなかった）
- ・職員能力開発総合大学校が実施する研修の受講（1名）
- ・工業系高等学校教諭対象の技術研修を実施（1回）
- ・幡多地域の建築業者等で構成する人材育成団体との連携（通年）

【在職者訓練】

■受講者数 7人（目標値18人 達成度 D）

- JWCAD初級研修 0人
- 丸ノコ取扱作業従事者安全衛生教育 3人
- 研削砥石の取替え、試運転関係特別教育 4人 合計 7人
- ・関係機関および修了生の就職先企業に案内チラシを配布し、広く周知に努めたが、コロナ禍の影響もあり受講者数に伸びが見られなかった。

R4年度の主な取組（第1四半期の取組と今後の予定）

【施設内訓練（普通課程・短期課程）】

■入校選考応募率（目標値 100.0%（普通課程） 108.0%（短期課程））

<第1四半期の取組実績>

- ・Twitterによる「日々の訓練の様子」や「学校行事の紹介」（60回/6月末）
- ・指導員がハローワーク四万十で資料配付と個別相談を実施（4～6月）
- ・地元ケーブルテレビ局との連携による学校紹介動画の放映（2局放映中）
- ・西部教育事務所との連携、四万十市教育長ほか訪問（19カ所）
- ・出前授業の実施（高等学校2校）
- ・地元タウン情報誌への学校行事案内掲載（「はたもへら」7/5号掲載）
- ・入校受験年齢制限の撤廃

<第2四半期以降の取組予定>

- ・学校イベント「ワクワクWORKキッズフェス」の開催（10月）
- ・テレビCMやオンライン広告を実施
- ・オープンキャンパスによる学校紹介、入校案内（2回）
- ・小学校への出前授業、ものづくり教室の開催（7～9月）
- ・教育機関（市町村教育委員会、中学校、高等学校等）への訪問
- ・高等学校進路担当者会議への出席（3地区出席）
- ・若者の学び直しと自立支援地区別連絡会議への参加（3回出席）
- ・デジタルサイネージ等の媒体を活用し、高等技術学校を周知。

■自己都合による中途退校率（目標値 5.7%（普通課程） 0.0%（短期課程））

- ・引き続き生活相談員を配置（週2日）し、保護者とも連携することで、訓練生の支援体制を強化（通年）
- ・学校職員や舎監による訓練生の生活支援（通年）

■就職率(関連就職率)

（目標値 98.1%（92.2%）（普通課程） 85.7%（72.7%）（短期課程））

- ・企業見学の実施（10月に1社予定）
- ・ジョブカードを活用したキャリアコンサルティングの実施（3回/1人）
- ・インターンシップの実施（9月～）

■その他全般に関する取組

- ・同時双方向による訓練を校内で試験実施
- ・若年者ものづくり競技大会（7/28広島県）に訓練生（木造建築科I 2年生）が出場（建築大工職種）
- ・職員能力開発総合大学校が実施する研修の受講（1名）
- ・工業系高等学校教諭対象の技術研修を実施（8月、3月）
- ・幡多地域の建築業者等で構成する人材育成団体との連携（通年）
- ・学校施設整備  
 ウォータークーラー（冷水機）の新設（6/24設置完了）  
 エアコン空調設備（多目的室、食堂棟）の更新（9～10月予定）  
 本館及び学生寮のトイレ改修（年度内）

【在職者訓練】

■受講者数（目標値18人）

- 3コースを設定
- <継続コース>  
 企業のニーズに対応した安全教育訓練  
 ○丸ノコ取扱作業従事者安全衛生教育 定員10人（8月）  
 ○研削砥石の取替え、試運転関係特別教育 定員10人（10月）

<新規コース>

- 受講者のなかったJWCAD初級研修に代えて、要望のあった建築大工検定の課題に対応した訓練を新設
- 一級建築大工技能検定 実技原寸図 定員6人（12月）